

「川の日」記念行事 (since1998, 通算 25 回)

第15回 “いい川”・“いい川づくり”ワークショップ in 東北

全国の “いい川・いい川づくり” 募集!!

川は、生きものを育み、地域や私たちの暮らしを支えてきた、かけがえのないものです。この大会は、私たちがめざす川や水辺はどんな姿なのか、私たちにとって“いい川・水辺”とはどんなことなのか、自由に柔軟に探っていくと、各地で活躍する市民・住民・行政に呼びかけ 1998 年に「川の日」ワークショップとして始まりました。

これぞ“いい川”・“いい川づくり”という事例や取り組み、思いを持ち寄り、その目的、取り組みを発表、議論することにより、少しでも“いい川・いい川づくり”のビジョン、イメージの共有につながれば、やがては日本中に個性豊かな愛着の持てる川や水辺が出現するとの思いからです。

過去 24 回の大会で応募数はのべ 1264 件となっています。回を重ねるなかで、身近な川から流域全体、全国規模の取り組みまで、また、源流域や湖沼、用水、湿地、海浜といったさまざまな水辺、下水道や雨水、水循環など、対象とする領域やテーマを広げてきました。

通算 25 回目となる今大会は、東日本大震災から 12 年経過した東北での開催です。「復興事業」が進む一方で、東北全体で互いに元気づけあうような機会が持てないという状況が続くなか、この地に集い、東北の川、活動がもう一度互いに元気になっていくような機会を、全国の川仲間と一緒に作っていきたいと思います。

地域、世代を越えたさまざまな人たちが一堂に会し、2 日間にわたる驚きと感動にあふれた公開選考会、交流が行なわれます。みなさんの自慢の“いい川”・“いい川づくり”を持って、是非、ご参加下さい。



●日時：2023 年 9 月 30 日（土）10：30～18：00

10 月 1 日（日）9：00～15：00 *時間は予定です

* 9 月 29 日（金）午後 現地の川や活動の現場の見学会を予定（希望者、事前申込制）

●会場：東北大学 青葉山キャンパス 青葉山 commons (仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1)

※アクセス：仙台駅より 地下鉄 東西線「青葉山駅」下車 徒歩約 3 分

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/aobayama/>



・主催：いい川・いい川づくり実行委員会 実行委員長 宮口 侗迪 他約 100 名

・後援（予定）：国土交通省、仙台市

“いい川”・“いい川づくり”ワークショップとは？

- 2 日間にわたり行なわれる選考会のプログラムは、全体会場での全応募者による発表に始まり、共通するテーマごとのグループに分かれて行われるテーブル選考、復活選考、全体選考と、全てオープンに行われます。
- 選考は優劣を決めるものではありません。発表によるリアルな取り組みの中から、選考過程を通じた議論の深まり、新しい視点やそれぞれのタカラモノの発見、共有をめざします。
- 各選考は実行委員会からそれぞれ選出された選考員（市民、行政、学識者など）が行います。選考の考え方、評価のポイントは次のように考えています。
 - ◆ それぞれの川の「タカラモノ」に光を当て、“いい川”、“いい川づくり”とは何かを探ります。
 - ◆ 内容の長所を評価する加点方式とし、短所は減点の対象としません。
 - ◆ 公開選考会は、おおよそ以下の 4 つのカテゴリーにおいて総合評価します。
 - 発想・着眼評価： “いい川”をめざすための斬新な発想や着眼、的確な視点についての評価
 - 関わり評価： 地域住民と川との豊かで良好な関わり合いについての評価
 - プロセス評価： “いい川”を育むための市民・住民参加や、様々な分野の人達との協働のプロセスについての評価
 - 計画・技術評価： 川らしさの保全や“いい川”回復のために工夫された計画手法、技術等についての評価や“いい川”を実現した計画、技術などに対する評価 など
- 応募者は、規定のプレゼンテーション用パネルを用意し、自由な表現方法で発表、アピールします。1 件 3 分という限られた時間の中で、工夫を凝らし熱のこもった発表が毎回繰り広げられています。日頃の取り組みを発表すること、そして議論や交流を通じて、新たな発見、取り組みのエネルギーをつかみます。
- 今大会は、会場参加を基本に、参加の機会を広げ、選考の対象としない発表など一部をオンライン形式によって行います。2 日間を通じた合意の深まり、学びあいの成果としてグランプリや入賞を選び、讃えあいます。

第15回「いい川」・「いい川づくり」ワークショップ in 東北

【大会概要】

※プログラムの一部、時間等は予定です。詳細は追ってホームページ等でご案内します。
※今大会では参加の機会を広げ、選考の対象としない発表など、一部をオンライン形式によって行います。

☆ 9月29日(金) 午後 エクスカーション (希望者、事前申込制)

仙台及び近郊の川や水辺、そこでの取り組み、復興の現場などを候補に調整中です。詳細は決まり次第ご案内します。
※ワークショップ参加者から希望者を募集します。詳しくは、別途チラシ、大会ホームページをご覧ください。

9月30日(土) 10:30 開会 ~18:00 ・会場(両日):東北大学 青葉山キャンパス
青葉山 commons 2F 翠生ホールほか

☆実行委員会 (10:00~10:20)

(応募者・一般受付 10:20~)

開会・全体集会

- ・10:30 開会 (全体会場)
- ・ワークショップの考え方や進め方等を共有します。

全体発表会 (全応募団体の発表)

- ・全体会場での全応募団体の発表会。
- ・大まかなテーマであらかじめ分けられたグループの順に従い、1件につき3分間で、続けて発表のみを行います。 **オンラインによる発表** (選考の対象としません)

グループ別 テーブル選考

- ・全体発表会での発表の後、テーマが共通するグループに分かれ、それぞれの会場(テーブル)で発表者、一般参加者を交えて議論します。
- ・議論により各テーブルから1~2件を翌日の全体選考に推薦(入選)します。
- ・オンラインによる発表グループはグループ討論を行います。

全体集会

- ・テーブル選考の討論概要、結果報告(各テーブル・コーディネーター)ほか(1日目終了)

☆交流懇親会(18:30~20:00) *参加者の交流を目的とした《懇親会》です。(事前申込み・会費制)

- ・会場:青葉の風テラス(仙台市地下鉄東西線「国際センター駅」2階) <http://terrace.sendai-cp.net/>
- ・参加費 4,000円程度(予定) ※学生は半額程度を予定

10月1日(日) 9:00~15:00 閉会

全体集会

(2日目開会)

復活選考

- ・前日のテーブル選考で選外になった団体から、新たな視点で復活させる目的で、ポスターセッション形式による追加推薦を投票で行ないます。復活推薦された団体は、入選者として、発表、全体選考の対象に加わることができます

入選者発表会

- ・テーブル選考と復活選考で推薦された団体(入選)によるアピール。

公開討論による 全体選考

- ・選考を通じて、会場を交えた討論のなかから、新たな「いい川」・「いい川づくり」の視点の発見、共有をめざします。また、全体をふりかえりながら共通の課題や新しい視点なども取り上げ、議論を深めていきます。

講評・表彰

- ・グランプリ、準グランプリ、特別賞などの表彰と講評
- ・実行委員会よりオリジナルの表彰状や副賞を贈呈し、成果を讃えあいます。



「川の日」記念行事「第15回「いい川」・「いい川づくり」ワークショップ in 東北」は、「川の日」実行委員会の助成を受けています。

◆ 応募の方法

※別項「発表の方法」もあわせてよくご確認ください！

※プログラム等の都合上、会場発表は 30 件を目安に募集します(オンラインでの発表は 5~10 件程度)。応募の締め切り前でも定数に達した時点で締め切る場合がありますので、お早めにお申込み下さい。

☆特設サイト <http://mizukan.or.jp/kawanohi-2023> 送付先 mail : kawanohi-2006@mizukan.or.jp

1. 応募申込書(様式1) ⇒ 8月30日まで(必着) ※上記サイトより Word 文書をダウンロードできます

: 選考用の手元資料原稿として使用します。様式(A4 サイズ, 1 ページ)にもとづき、内容については分かる範囲で記入してください。 ※選考の対象としないオンラインによる発表の応募は、専用様式にてお申込ください。

2. パネルの縮小版(様式2、A4 サイズ) ※下記参照 ⇒ 9月10日まで(必着) ※オンライン発表も共通

: 応募申込書(様式 1)とともに選考用の手元資料の原稿として印刷(A4 サイズ・モノクロ)、配布します。実際のパネルとの多少の変更は構いません。

3. 発表用パネル(様式2、A1サイズ) ※下記参照 ⇒ (会場発表のみ)当日持参、または事前に送付。

: 下記参照、事前に送付される場合は、必ず現地事務局までご連絡ください。 ※会場には直接送れません

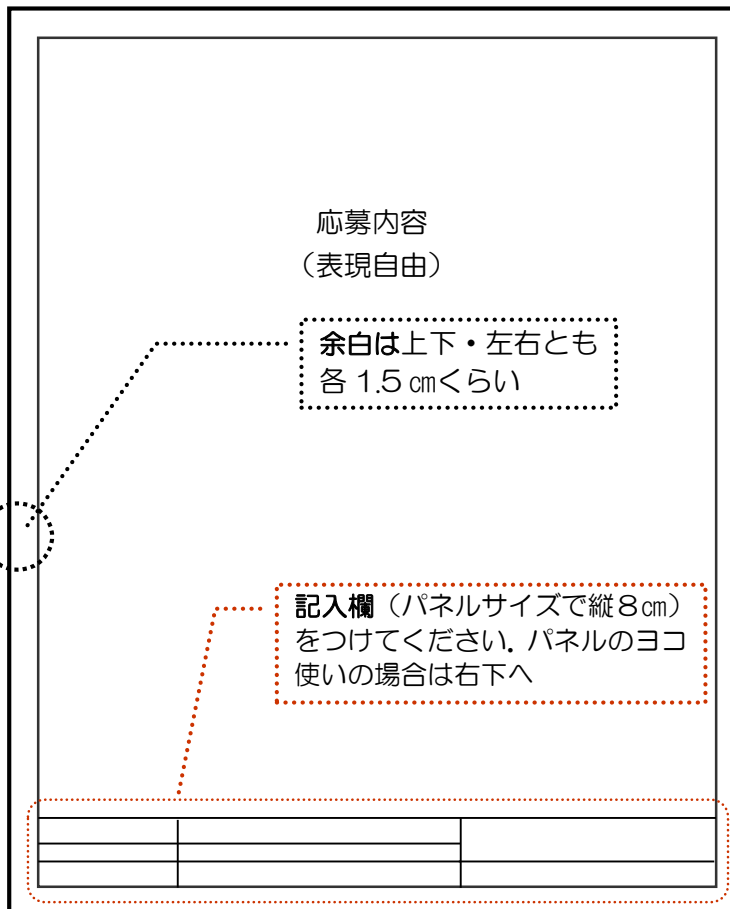
4. 水辺の風景や状況、活動の様子などの写真(1点か2点) ⇒ 応募申込書か縮小版とともに送付

: 事前にエントリー団体の概要とともに大会ホームページで紹介します。また、当日発表時に会場全体でその川のイメージを共有するための写真をスクリーンに表示します。ホームページ用は、活動等の様子が分かる写真、スクリーン表示用の写真は、水辺全体の雰囲気が分かるような写真(文字なし)をお送りください。

※デジタル推奨、プリントも可。返却が必要な場合は予めお知らせください。

様式2【発表用パネル及びパネル縮小版(資料印刷原稿)】について

・パネル(実物)は、A1(59×84cm)サイズを基本とします、「パネル縮小版」はA4サイズ(タテ・ヨコ使いとも可)。



■発表用パネル (A1サイズ)

- ・所定の記入欄以外は、写真や図表、イラストのほか、さまざまな材料を用いた立体的なものも可能です。こだわらず自由に表現してください。
- ・発表では複数のパネルを使用できますが、展示・投票用としてメインのパネル1点を決めておいてください。
- ・会期中、パネルは各会場に立てかけて展示します。フレーム、発砲スチロール、厚紙等、形状は自由ですが、まっすぐ立てかけられる強度になるよう工夫して下さい。持ち運びやすいよう二つ折りなども可(設置するためのスタンド等はこちらで用意します)。

■パネルの縮小版 (A4サイズ)

- ・手元資料(冊子)の印刷(モノクロ)原稿として使用します。実際のパネルとの多少の変更可。

■共通事項

- ・余白は、上下・左右とも各 1.5 cm 位
- ・「記入欄」をつけてください。

記入欄: 拡大図(縮小版では原寸程度)

| | | |
|---------------------|-------|------------------------|
| ふりがな 川や水辺の名称 | (水系) | 活動や事業の名称または応募に当たってのテーマ |
| 所在地 | 県 市町村 | |
| 応募者名(ふりがな) 所属団体名 | | (記入不要) エントリーNo. |

◇ 発表の方法 ※別項「応募の方法」もあわせてよくご確認ください！

- 発表用パネル(A1 サイズ、必須)のほか、選考の各過程を想定してご準備ください。配布資料等を当日持ってくることもできます。

選考会 1 日目(9/30・土):全体発表会及びテーマ別テーブル選考(一次選考)

- 応募申込書(様式 1)の「主に発表したいこと」等の内容を参考に、大まかなテーマで事務局によりグルーピングします。
- テーブル選考に先立ち、全体会場のステージで、全応募者による発表会を行いません。発表時間は各3分で、発表のみを行います。発表者は複数名でもかまいません。質疑等は、全体発表会の後に行うテーブル選考で行います。
- 発表では、制限時間内であれば表現方法は自由です。音楽や映像等(動画可)も使用できます。水辺の状況や活動の様子、技術の内容など全体のイメージやアピールしたいこと伝えてください。ユニークな表現や、アピールしたい事を効果的に強調する創造的な工夫は、このワークショップでの大きな評価ポイントの一つになります。
- それぞれの川や水辺の全体のイメージを会場全体で共有するため、それぞれの発表中にその水辺の風景写真を1団体につき1点、映写します(発表者が使うスクリーンとは別のサブスクリーンを設置予定)。川や水辺の全体の様子が分かるような風景写真を事前にお送りください(別項「応募の方法」参照)。
- 発表パネルは、プログラムの過程で各会場等に移動、展示し、発表、選考、投票等で使用します。

選考会 2 日目(10/1・日):復活選考および入選者発表会、公開討論会(全体選考)等

- 2日目のスタートと同時に、前日のテーブル選考で選外となった発表団体を全体選考に追加推薦する目的で、パネルによるポスターセッション形式の復活選考を行いません。選考は、選考員の投票によって行います。
- テーブル選考及び復活選考からの推薦団体を「入選」とし、全体会場のステージで入選者発表会として、各 3 分間の発表を行います。前日の発表の手ごたえや議論の結果等を受けて、内容を更新するなど工夫してください。
- 公開討論による全体選考は、コーディネーターによる進行のもと、発表した活動内容を絞り込むため、コメンテーターや会場とのやりとりによって行いません。選考終了後、表彰式を行い、閉会となります。

◇ その他

- このワークショップの目的は、“いい川”のイメージを互いに共有することであり、開会から閉会までの2日間のフル参加を原則とします。
- 応募申込書(様式 1)とパネルの縮小版(様式 2)は、当日の選考用手元資料として冊子(A4 サイズ、モノクロ)にします。応募申込書に記入された個人情報については、主催者側で厳重に管理し、本大会に関わること以外の目的では使用いたしません。
- 1 日目(9/30)終了後の交流懇親会は、感染状況、対策上可能な範囲で開催予定です。事前申込による自由参加です。
- 市民の応募者で遠方の方には、旅費の一部補助を予定しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。行政、企業の方は自己負担にてお願いします。遠方の方など、チケット等のできるだけ早いご予約をおすすめします。
- 9/29(金)、9/30(土)の宿泊は、各自ご予約いただきますようお願いいたします。早めのご予約をおすすめします！

☆初めての応募、行政や企業などの事業、取組みの応募、参加も歓迎しています！

☆準備や当日など運営をサポートする立場での参加も募集しています！一般参加も自由です！詳しくは事務局まで

第 15 回いい川・いい川づくりワークショップ in 東北 特設サイト <http://mizukan.or.jp/kawanohi-2023>

大会の詳しい情報、新しい情報は、大会ホームページ等で逐次、ご案内します。是非ご覧ください。
これまでの大会や関連情報、のほか、今大会のエントリー団体も紹介していきます。
詳細や不明な点は、下記事務局までお気軽にお問い合わせください。



●応募・問い合わせ先: いい川・いい川づくり実行委員会事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14-301 NPO 全国水環境交流会

TEL: 03-3408-2466 FAX: 03-5772-1608 E-mail: kawanohi-2006@mizukan.or.jp

いい川・いい川づくりワークショップホームページ URL: <http://mizukan.or.jp/kawanohi>

(現地実行委員会 事務局) NPO 法人 水・環境ネット東北

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目 1-3 仙台市市民活動サポートセンター内(LC-30)

E-mail: mizunet@mizunet.org HP: <https://mizunet.org>



河川基金

「第 15 回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ in 東北」は、公益財団法人 河川財団の河川基金の助成を受けています。